

北海道手をつなぐ育成会 げっぽう

第764号

昭和39年3月13日第三種郵便物認可第10号(毎月1日発行・定価一部10円会費を含む)
●発行日—令和3年9月1日
●発行所—札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7(4F)
〒060-0002 札幌市中央区
電話 011-251-0855
FAX 011-251-0804
Eメール doikusei@air.ocn.ne.jp
●発行人—佐藤春光
印刷所 (株)北海道機関紙印刷所

道育成会第66回全道大会岩見沢大会・第27回本人大会 成功裏に終了

立ち止まることなく、歩みを進めよう

参加者総数…530名！

(岩見沢会場…110名、オンライン…73件、420名)



7月31日(土)、岩見沢市民会館まなみくる・文化センター中ホールをメイン会場に全道大会史上初となるオンライン(ハイブリット方式)による岩見沢大会が開催され、盛況のうちに無事終了することができました。



開会式

主催者を代表し、佐藤春光会長より、昭和31年から続く全道大会の歴史とその意義が紹介されました。また、開催にあたりご支援をいただきました岩見沢市をはじめ、空知管内各自治体、関係者の皆様へ感謝が述べられ、コロナ禍における大会開催を決定し、実現した実行委員会の英断と今日までの奮闘に労いの挨拶がありました。



ご来賓からは、岩見沢市長松野哲様より「参加者への安心、安全に配慮したオンラインという大会運営にお礼と歓迎を申し上げ、引き続き共生社会の実現をめざし、共に歩みを進めましょう」とご

挨拶をいただきました。

中央情勢報告

全育連

の久保会長からは冒頭、「ご心配をおかけしていた係争事が本年、全面的に解決し、目標としていた東京に事務所を構え、法人格を取得することができました」と報告があり、長年に渡って不安をおかけしていたことへのお詫びと、その間の支援に感謝が述べられました。

シンポジウム

北教大札幌校の安井教授をコーディネーターにお願いし「今後の育成会活動」をテーマとして議論が進められました。

《育成会活動》・《発達、教育》・《就労、日中活動》・《暮らす》の各分野から4名のシンポジストにより、動画やスライドを活用した具体的で大変分かりやすい報告、提言が続きしました。

限れた時間ではありましたが、それぞれが見事に関連し合い、熱心な議論のもとで、大変、質の



高いシンポジウムになりました。

*なお、同時開催、別チャンネルでは本人大会シンポジウムが開催されています。(2P)

休憩

「大会歌」と「ひやっぴい体操」で構成され、後半に向けてリフレッシュ。

記念演劇

いよいよ新篠津高等養護学校演劇部による「ハルとソラ」の上演です。

特別支援学校の寄宿舎で生活を送る男子高校生「ソラ」が実習先の高齢者介護施設で出会った女性「ハル」との交流を柱に、施設職員や寄宿舎指導員、同部屋の後輩達とのやり取りを通じて、自分の居場所を見つけていくというストーリー。



閉会式

司会者による感謝状、表彰者の紹介後、佐藤恵三実行委員長による挨拶と大会決議が提案され、本人大会決議(動画)と共に満場の拍手で議決されました。

最後は、次期開催地となる帯広市手をつなぐ育成会の畑中会長より「十勝、帯広は美味しい空気、水、食べ物、広大な自然に恵まれた地域。来年は集合型で、十勝を満喫していただきたいながら、互いに熱い思いを語り合ひましょう。」と十勝ブロックを挙げての準備を約束し、再会を呼びかけ、大会を終了しました。

第27回本人大会

コロナ禍の暮らし、 自分と向き合いながら

仲間の発表に共感と励ましもらった！

本人大会「第1回実行委員会」は、大会開催まで1ヶ月と迫った6月26日(土)、それも初めてのオンラインによる実施でした。

その日までに、大会開催の有無やシンポジウム等の内容について、各本人会で話し合いをお願いし、事務局を中心に連絡を取り合っていたので、何とか形を成しましたが、当事者の皆さんをはじめ、支援者の頑張り、特に開催地である岩見沢の実行委員の皆さん達(下写真)の努力と協力があってのこと。心から感謝します。

さて、そうした事情から「大会実施要項」に掲載できなかったシンポジスト4名の報告内容(概要)を紹介します。テーマは「コロナ禍における仕事と暮らし」です。

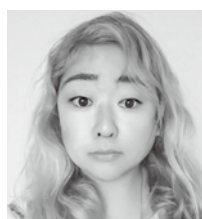


自分は、今、特別養護老人ホームの清掃をしています。昨年は、コロナの発生で3週間くらい仕事がストップしました。その間、別の仕事をしていました。今は、順調です。先日、友達か



ら「死にたくない。ワクチンを早く打ちたい」という相談がありました。「議員や役所に相談したらいいよ」とアドバイスをしています。一番大切なのは、周りに流されず、正しい情報と知識です。デマやウソ、ガセ、うわさにだまされないこと。コロナをぶつつぶす気持ちで、この釧路の地から皆さんに元気を送ります。

藤田さん(トウモロークしろ)



コロナで、実家への帰省や友達と会うことができなくなり「取り残されてる感」があります。事業所とグループホームだけの往復。外出も自粛。しかし、空いた時間で逆にたくさんさんのことができるようになりました。スキンケアや読書など、インドアな趣味を充実させています。

私たちは何かにチャレンジしたり、恋愛しようとする「障がい者」だからと反対されたりします。障がい者である前に人間です。すごく悲しく、悔しいです。

私は日本に千人くらいしかない難病で、症状は顔の赤いあざ(血管腫)と、てんかん発作です。3歳からレーザー治療をしましたが、当時は医療技術も不十分で、とても辛かったです。今、顔のあざは私の「個性」として受け止めています。

また、てんかん発作も難治性です。発作の後には自己嫌悪に陥り、泣くことも多々あります。しかし、私自身のテーマは「チャラく見えるけど、やることしっかりやる」です。私は、コロナが終息したら、将来、裁縫や編み物などのハンドメイドや、パソコンでできる事務系の仕事をして生計を立て、いつかはパートナーと一緒に自立したいと思っています。

成田さん(函館いかす会)



私は本人会に入ってから10年くらいになります。地域のお祭りや陽だまり会主催のパーティーでは、全員で合唱とダンスを発表します。その他にもスポーツ教室やカラオケ教室、ボーリング大会などの活動があります。しかし、最近はコロナのため、行事はほとんど中止です。買い物にもなるべく行かないように言われ、気持的に落ち込みます。でも、こんな中だからこそ、「コロナでもできることを考えよう」と思いました。

自分が成人式に参加した時、すでに内容が決まっていた、仲間や友達ができていて、私はその中に全然入って行けず、とても悲しかったです。でも私だけではありません。話を聞くと先輩も後輩も同じでした。そこで、今年、高等養護学校の生徒さんと、どうしたら楽しく参加できるか一緒に考え、提案することにしました。障がいがあってもなくても人は平等に生きていく権利があることをみんなに伝えていきたいと思っています。

櫻庭さん

(名寄心と手をつなぐ育成会本人部会)



私は38歳を迎え、昨年夏に「北海道障がい者施策推進審議会委員」の任命を受け、会議に出席しました。私たちに係わる大きな問題や強い要望が出されていることにとても刺激を受けました。最近の会議は、書面のため、私たちの気持ちや意見が伝わりにくいと思います。今、一人一人が声を挙げていくことが大事だと思います。

菅原さん

(旭川手をつなぐ育成会ひばりサークル)

お知らせ

■セミナー案内■(前号に続き)

第11回権利擁護セミナーin札幌

全育連主催・10月27日(水)12時30分～

本人の暮らしを支える

「福祉」も「成年後見」もどっちも大事
～大切にしたい、意思決定支援～

当事者の意思(思い)ありきで関わるのが「権利擁護」の基本。当然、親も本人の意思を育み、尊重することが求められています。そして、

「福祉」も「成年後見」も、本人の意思を支えていくツールのひとつであるはず。日々、本人達へ支援をされている福祉の現場から、意思決定支援について学び、成年後見人とかかわりについても具体的な報告をいただきます。



そこから、成年後見の身上保護に求めたいことや、本来、福祉が担うべきこと、後見人制度でなければできないことなどが浮き出てくるように思います。その上で、促進法で改善が期待されるポイントや、促進法によって知的障がい者が求める制度にならないとしたら…。

そうした問題提起を含め、参加者の皆様に

は慎重に丁寧に、わかりやすくお伝えし、本人にとっての権利擁護、意思決定支援について、共に考えていきたいと思っています。

*全育連のホームページから、参加申し込み書に直接ご記入いただき、各自お手続きをお願い致します。(詳しい日程、会場、プログラムも添付のチラシをご参照ください)

なお、コロナ過であることからオンラインによる参加者は全国(道内含む)を対象に先着順80名。札幌会場への直接参加者についてはスタッフと道内在住者に限り、先着順100名となっています。お早目の申し込みをお願いします。

*申込締め切り 9月17日!

■書籍案内(新刊)■

ひとりだち 2021年 改訂版

*発行元「全育連」(1,320円税込み)



〈目次〉

1. 自立
2. 政治
3. 生活
4. お金
5. 健康
6. 仕事
7. 人間関係
8. トラブル

全育連では、障がいのある人のより豊かな生活のために法律、地域での暮らし、食や性

に関することまで、それぞれのテーマに沿って書籍を通し、提案、情報の発信をしています。この度は「ひとりだち」をめざすための生活や仕事など、世の中の仕組みを知る手引きになる本を出版しました。ぜひ、ご活用ください。

・学校を卒業したら、会社などで働きたいと思っている。

・支援を受けながら、一人暮らしをしたいと思っている。

・自分のこれからの生活を自分で考えたいと思っている。

*全育連のホームページから、ご注文下さい。

■表彰者・大会決議■

岩見沢大会において、司会を務めていただいた「UHBの気象キャスター菅井貴子さん」によって、閉会式の折に『北海道善行賞・道育成会会長表彰者』が紹介されました。改めて、心よりお祝い申し上げます。また『道育成会大会決議・本人大会決議』につきましても、それぞれ提案、議決されました。これらは現在、道育成会ホームページにアップしておりますので、ぜひ、ご覧下さい。

今後の予定

9月9日(木) 第3回 理事会
14日(火) 事業所協議会 役員会

知的障がい児者・自閉症児者の 生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
 - 就労に関する相談支援
 - 権利擁護に関する相談支援
- の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、自閉症児者のための
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

生活サポート総合補償制度は…

全国で約145,000人のみなさまにご利用いただいている補償制度です。

AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、
職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

株式会社 ジェイアイシー 北海道支店

〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地102

レジディア大通公園2F

TEL: 011-221-7009 FAX: 011-221-1704

受付時間: 午前9時～午後5時

(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社

https://www.aig.co.jp/sonpo

札幌支店

〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F

TEL: 011-204-7510

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

主な補償内容

病気やケガで入院したとき
入院給付金

賠償責任を負ったとき
個人賠償責任保険金

ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

虐待・逮捕・勾留に対応するとき
弁護士費用等補償
※プランによって補償します

病気で死亡したとき
疾病葬儀費用保険金

就労中に他人にケガをさせたり
物を壊してしまったとき
職業従事事故対応費用補償
※プランによって補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

ご入会のお問合せはこちら

北海道知的障害児者生活サポート協会

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かねて2・7 4階

北海道手をつなぐ育成会内

TEL: 011-251-0855 FAX: 011-251-0804

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2020年12月現在の内容です。(D-004961 2022-03)

知的障がい・
発達障がい、
ダウン症、
てんかんの有る方、
ご家族に

病気やケガが絶えない…
成人病や生活習慣病に備えたい…
他人の物を壊してしまった…
虐待・雇用現場での差別など
人に相談しにくい悩みがある…

障がいのある方とご家族へ



ぜんちの

あんしん保険

少額短期健康総合保険(無告知型)2019年創設

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

特別支援教育を必要とされている方へ



ぜんちの

こども傷害保険

権利保護補償付傷害保険2019年創設

- ・入院・通院を日額保障
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、
弁護士がサポート



このようなお困り事に
心当たりがある方に…

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら



ぜんち共済株式会社

関東財務局長(少額短期保険)第14号

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5九段北325ビル4階

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

【2020年1月作成 19-T06633】

0120-322-150

平日9時～17時(土・日・祝日・年末年始を除く)

URL: http://www.z-kyosai.com/

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)

有限会社オフィスブレイン

〒060-0032

北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地 札幌セントラルビル2階

TEL: 011-207-2522 FAX: 011-207-2523



弁護士が
全面的に
サポート

『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所連絡協議会の
目的です。

私たちは、『経営』と『志』の統一を目指しています。

体力のある事業所も体力のない事業所も助け合います。

あなたの事業所の入会を待っています。

北海道手をつなぐ育成会 通所事業所連絡協議会

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目 かねて2・7 (4F)

電話(011)251-0855/FAX(011)251-0804

E-mail: doikusei@air.ocn.ne.jp

★会員事業所紹介★

社会福祉法人 標茶町社会福祉協議会 しべちゃコスモス

〒088-3213 川上郡標茶町常盤8丁目2番地

電話 (015)486-9777 / FAX (015)486-9800

E-mail: shibecha-kosumosu2@bz04.plala.or.jp

★就労継続支援B型

☆定員…19名

★主な作業

- ☆木工
- ☆手芸
- ☆野菜
- ☆草刈
- ☆草刈り
- ☆清掃
- ☆菓子 ☆その他

